

令和 7 年 6 月 9 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 樺澤 直純

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 時代変化する課題解決について

答弁を求める者 市長・教育長

ここ近年では日本国中が少子高齢化や色々な社会情勢などの背景からの影響により、様々な場面で地域課題も増え変化していき、また、そのスピードも増していることから、それらへの解決に向けた取り組みが更に必要とされています。

見附市では令和 8 年度からのまちづくりの指針となる新しい総合計画(第 6 次見附市総合計画)の策定を進めているところであり、また、令和 7 年 4 月 1 日からの 3 年間、新たに設けた「見附みらいづくり最高戦略監(CSO)」に高橋 丈晴氏が着任され、公共施設の最適化や既存事業の見直し、未来を見据えた新しい取り組みの創出を行い、歳入歳出両面から財政体質の改善を図っていくこととしています。以下、いくつかお尋ねし、当市の見解をお聞きいたします。

1 外部人材について

前年度末の令和 7 年 3 月市議会定例会での令和 7 年度施政方針にて、6 番目の項目の「あらゆる力を結集する」では、「来年度から登用予定の見附みらいづくり最高戦略監(CSO)」については、全課統括する立場で公共施設の最適化をはじめとした取り組みを進めてもらうなかで、職員のさらなる力量形成にもつなげていきます。」と市長が述べられました。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウエ



今までの見附市の登用する外部人材としては、地域おこし協力隊、地域力創造アドバイザー、地域課題解決ソーシャルベンチャー事業からの地域活性化起業人、その他の事業内容での地域活性化起業人、そして、今年度からの見附みらいづくり最高戦略監（ＣＳＯ）へと進んでいるように感じています。

当市の登用した今までの外部人材への振り返りからの評価、そこを踏まえＣＳＯが着任されてから現在までの経過とＣＳＯとして今年度中に進めていく内容、予定等をお聞かせください。

2 学校プール施設について

今年の3月31日に見附中学校のプール付近法面が土砂崩れにより敷地内に土砂が堆積し、排水溝が閉塞していることがわかり、復旧工事が必要とのことで、その影響により見附中学校では今年度の水泳授業が中止とのことです。市内公共施設として、学校プールや市民プールについて、以前の市議会定例会の一般質問でも私はこの内容について質問いたしました。

学校区のあり方や学校の統廃合、配置など様々な視点から今も現在進行形で議論されているところですが、学校プールは年間を通し短期間な使用割合であること、その割合でかかる大きな運営維持費用、経年から老朽化していく校舎と併設プールは築年数の古い学校施設も多く存在していることから、現在の各学校の状況と学校プールの在り方として、県内外の他の自治体も学校での水泳授業の民間委託が進められている状況から、当市では今後の民間委託等をどのようにお考えいただけるのかをお聞かせください。

3 消防団の再編について

令和7年6月15日(日)の見附市総合防災訓練は、災害への対応能力や市民の防災意識向上を図るため、水害や土砂災害を想定した防災訓練

が実施されます。当日には見附市消防団も各々が活動されます。

今年の新規入団者は5名であったとのことで、これは過去から比較すると大変寂しく感じますし、現在の団員の登録人数等でも過去からの比較で大きく減少となっています。

地域によっては団員不足が生じている分団や分団内の部も増え続けていますし、更に欠員数が増えてしまうという理由からあがれない（卒団できない）現象があるのも事実であります。

勿論、見附市消防本部、見附市消防団本部共に団員充足と消防団機能の向上のため、日々あの手この手で尽力されていることは存じておりますが、少子高齢人口減少社会や昨今の社会環境の変化等から新規入団や人員の確保は非常により難しくなっています。

現在は市内で分団数は8分団あり、抱えている状況や課題は様々であると考えられますが、例えば、今までの分団から部の組織構成を変更し、分団のみに統合とした消防団活動の機能を図るなど、消防団組織構成としての再編等は今後どのように考えているのかをお聞かせください。